

デロイトトーマツ アンサンブル ヒーローズ株式会社 代表取締役

原 悠一郎

「ITをどのようにビジネスに活用するか？」を追求し、クライアントの成長に欠かせない「縁の下の力持ち」を目指す



Q. 創業時の想いを教えてください。

A. 大学院卒業後、首都圏に出て新卒で就職した大手電機メーカー系のIT企業で、データセンター・クラウド事業のビジネス推進業務を行っていました。当時、業界では「クラウドコンピューティング」という言葉がバズワードとして流行っていました。現在のAIやDXなどに近いかもしれません。特に外資大手のクラウドサービスは破壊的なもので、多くのITベンダーが独自のクラウドサービスの提供を開始しましたが、その多くが淘汰されてしまっています。そういった新しい技術による時代の移り変わりを身をもって体感できたことは良い経験だったと思っています。その後、EC系事業会社での経験を経て、クライアント（事業会社）の立場でIT技術を活用するプロフェッショナル集団を作ろうという想いから、UnsungHeroes株式会社（現デロイトトーマツ アンサンブルヒーローズ株式会社、以下DTUH）を創業するにいたりました。

Q. DTUHの今後の方針を教えてください。

A. デロイトトーマツ グループに参画したことから上流や大規模なプロジェクトをグループ会社と共に手掛ける機会が確実に増えています。しかし一方でDTUHはまだ小規模の会社であり、応えられていない期待が多くあるとも感じています。技術者数の増強、幅と深さ両面でのスキル向上、プロジェクトマネジメント力の強化などを進める事で、さまざまな期待に対して実行力や提案力のある会社にしていきたいと考えています。環境は常に変化し会社として必要な形も時々で変わりますが、「IT技術を活用してクライアントの成長に伴走していきたい」という軸は大切にして、今後も成長してきたいと考えています。

Q. 入社を検討している皆さんへメッセージをお願いします。

A. AIなど技術の加速を基盤にITが身近になり、昔の事業会社とSlerの関係性から事業会社自身がプロジェクトを組成しSlerやサービスを上手に組み合わせていく時代に変化していきます。それを支えるために重要なのは、「技術力やITサービス理解度」「作りこむだけではなく活用する」「事業会社における情報システム」という視点をもっている事だと感じています。そういった視点をもってIT業界で仕事をしていきたいと思う方は非常にマッチしていると思います。また、DTUHは入社いただいたメンバーで何がやれるか。という思考も重視しており、原則として社内リソース（グループ会社含む）で提案する社風です。メンバーと共に、クライアントと共に、自分自身も変化・成長していきたいと感じられている方は是非入社いただければ幸いです。

[採用ページへ戻る](#)